

# 議決結果一覧

議員提出議案	会 派 名									議決結果
	新	公	共	民	ネ	羽	21	風	世	
基地対策予算の増額等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
生活困窮家庭の子どもに対し子育て支援の強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

陳 情	審査した 委員会	会 派 名									本会議の 結 果
		新	公	共	民	ネ	羽	21	風	世	
介護保険に関する陳情書	厚生	×	×	○	×	○	○	×	×	○	不採択
特別職の期末手当の加算金に関する陳情書	総務	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
「西口区画整理事業に適用する『基準地積決定準則』の目的は誤り」に関する陳情	経済	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
「西口区画整理事業に適用する、判り難い『基準地積決定準則』」に関する陳情	経済	×	×	○	×	○	×	×	×	○	不採択
羽村市富士見霊園条例の（使用料）第8条ただし書「……第2霊園及び第3霊園の使用料は、無料とする。」の部分の削除及び同条例の（適用除外）第19条の廃止及び削除を求める陳情書	厚生	×	×	○	×	○	×	△	×	○	不採択

### 要望書扱いとした陳情

- ◇ 「会議録の、定めてない閲覧可能日」に関する陳情
- ◇ 「ゆとろぎのマナー向上キャンペーンは市の施策として」に関する陳情
- ◇ 「ゆとろぎ舞台裏の落書き禁止」に関する陳情
- ◇ 「会議の5分前集合を知らない職員」に関する陳情
- ◇ 「条例、要綱は個別に定める見直し時期が必要」（その1 羽村市章）に関する陳情
- ◇ 「議長と議員の任期は同じに違反している」に関する陳情
- ◇ 「議長の選挙は法律の順に」に関する陳情
- ◇ 「『審議委員選挙の規定』制定に関する陳情」に関する陳情
- ◇ 駐車場に対する陳情
- ◇ 領収書に対する陳情

※会派名 新：新政会市民クラブ、 公：公明党、 共：日本共産党、 民：民主党  
 ネ：市民ネットワーク「いきいき広場」、 羽：羽村クラブ、 21：羽村21  
 風：新しい風、 世：世論

※各会派の所属議員については、13ページの会派名簿をご覧ください。

※各会派の賛否：（議案） ○：賛成 ×：反対

〃 （陳情） ○：採択 ×：不採択 △：趣旨採択

※議長は本会議の表決にはお呼びません。

## 議員研修

## 地域活性化と自治体の役割

開催 平成 21 年 9 月 24 日 (木)

講師 青山 侑先生 (あおやま・やすし/明治大学公共政策大学院ガバナンス科教授)

演題 地域活性化と自治体の役割

今回は、東京都職員から東京都副知事まで務められ、現在は明治大学公共政策大学院ガバナンス科教授としてご活躍されている青山先生をお招きし、地域活性化と自治体の役割についてご講演をいただきました。

講演は、

- 「分権」とは何か
- New Public Management (新しい行政経営) からガバナンスへ
- 地域活性化・自治体の政策創造とは

の 3 つを柱に、具体的な事例や講師ご自身の経験等も踏まえながら、分かりやすくお話をいただきました。

自治とは、地域の特性に応じて、自分たちで政策を決定し、実行すること。自治体の仕事の第一は、地域経済の振興である。ガバナンス (統治) は行政、市場活動、市民活動の 3 者のバランスが大切である。成長社会から成熟社会へ移行しており、これからの時代は社会的包容力 (社会から一定の人々を排除する状況をなくそうとする公共の努力) がキーワードである。などの地域活性化に向けたヒントをいただきました。



## 行政視察

## 行政視察報告会を実施します

市議会では、市政の発展に役立てることを目的に、先進地の行政視察を行っています。

今年も、総務・経済・厚生各常任委員会がそれぞれ担当分野について視察をしてきました。その調査・研究の成果を発表する報告会を行います。どなたでもご覧になれます。多くの方のご来場をお待ちしております。

日時 12 月 11 日 (金) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分 (予定)

※途中までのご入場、ご退席もできます。

会場 コミュニティセンター

※当日直接会場へお越しください。

報告内容

厚生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥取方式による芝生化事業及び NPO 法人との連携について (NPO 法人 グリーンスポーツ鳥取) (鳥取県鳥取市)</li> <li>○廃油回収事業について (NPO 法人 鳥取発エコタウン 2020)</li> </ul>
総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○循環型まちづくり条例および関連事業について (岩手県紫波町)</li> <li>○三沢市と三沢基地との関係について (青森県三沢市)</li> </ul>
経済委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小田原ふるさと原風景百選について (神奈川県小田原市)</li> <li>○高校生のチャレンジショップ (吉商本舗) について (NPO 法人 東海道・吉原宿・静岡県富士見市)</li> <li>○農業法人について (農業法人株式会社秋津野・和歌山県田辺市)</li> <li>○区画整理事業について (茨城県那珂市・埼玉県富士見市)</li> </ul>

問合せ 議会事務局

# 決算審査

一般会計予算原案に対しては、賛成、反対それぞれ3人が意見を述べました。

予算原案は、本会議での採決により認定されました。

歳入については、主要財源である市税は前年度とほぼ同額を確保でき、その他に、(財)羽村ふれあい地域づくり公社の解散に伴う出えん金の返還金、定額給付金給付事業などの財源により、大幅な増額となりました。歳出については、(財)羽村ふれあい地域づくり公社からの返還金を財政調整基金に積み立てたことや、福生病院組合負担金、生活保護費などが増加したことにより増額しました。

## 【賛成】

100年に一度とも言われている世界的な不況の中、歳入のうち、市民税法人分が前年比一億円強の減少を見たものの、市民税個人分・固定資産税等の伸びもあり、前年並みの額を確保できた。

歳出についてみると、障害者就労支援センターの開設、認定子ども園の開園、スポーツリーダーバンクの創設、資源リサイクルマニユアルの作成、羽加美栄立体交差の完成、そして緊急経済対策としてプレミアム付商品券の発行等、五弾にわたる対策を打つなど、限られた財源を市民福祉の向上のため使ったことが確認できる。

よって平成20年度一般会計決算の認定に賛成する。

## 【賛成】

我が国は平成17年から人口減少社会に転じ、将来も一層の少子化・高齢化が進行し、本格的な人口減少社会が到来する見通しである。その上、20年度の後半からは100年に一度と言われるかつて経験したことのない経済危機の中、不安材料も山積している。

そうした中、平成20年度の決算は、各分野にわたり公明党が予算要望してきた内容が盛り込まれ、新規事業や安心して生活できる環境づくりへの予算を適正に執行し、計画の事務事業を着実に実施されている。しかしながら、財政運営は非常に厳しい状況であり、今後、各事業の見直しをはじめ、さらなる物件費など経常的経費の削減に努力されることを強く望み、認定に賛成とする。

## 【賛成】

100年に一度と言われる経済危機が直撃する中、歳入が減り、それを基金の繰り入れて補う形の決算となった。こうした中、市民生活に極力影響を及ぼさないよう、各種の緊急経済対策を講じ、増え続ける生活保護費、障害

者福祉、保育園の運営などに重点を置いた施策を行ってきたことを高く評価する。行財政運営は、適切に行われ、きびしい収納環境の中、職員の努力で何とか水準を守ったことも評価する。しかし、経常収支比率が上がり続けている。これまでのように成長を基本にした施策ではなく、セイフティネットをきちんと担保しながら、成熟した羽村市に変えるため、事業仕分けを進め、事務事業を見直し、歳出を削減する行財政運営をめざす必要があると考える。政治や行政に対する市民の意識が大きく変化する中で、市民ニーズに柔軟に対応し、新たな分権時代をリードする羽村市の体制の構築と、職員の意識の変革を求めて賛成の意見とする。

# 賛成